

【第12期理事会第3回会議議事録】

日時：2023年5月26日(金)15:00-16:00

場所：名古屋市立大学1号館515室+Zoomオンライン会議

出席：〔理事〕赤松美和子、家永真幸、大東和重、小笠原欣幸、何義麟、川上桃子、川島真、北波道子、洪郁如、佐藤幸人、澤井律之、清水麗、菅野敦志、垂水千恵、富田哲、松金公正、松田康博、松本充豊、三澤真美恵、宮岡真央子、山崎直也、やまだあつし、
〔名誉理事長〕春山明哲

欠席：〔理事〕浅野豊美、上水流久彦、河原功、黄英哲、駒込武、福田円、星名宏修、松岡格、三尾裕子、林初梅

主宰：松田康博理事長

書記：五十嵐隆幸

理事会の議事に先立ち、第25回学術大会実行委員長やまだあつし会員より挨拶があった。

報告

1. 理事長・事務局

(1) 松田理事長

第11期から第12期まで4年間について、コロナ対応のほか、以下の4点で総括した。

- ・学会の基本的な機能である「3点セット(学術大会、学会誌、ニューズレター)」の維持、ホームページのリニューアル、メールサービスの改善・強化
- ・ソーシャル・アウトリーチの強化(SNET台湾との協力拡大、日本台湾学会学術賞の新設等)
- ・グローバル・アウトリーチの強化(NATSAやEATSとの協力、WCTSへの派遣等)
- ・多様な会員が学会活動に参加できる基盤の充実(ジェンダー、身体的要因などへの配慮、若い有望な研究者の学会参加を促す施策として特定査読者の回避制度等)

(2) 川上事務局担当理事

選挙にあわせて名簿の作成・配布を行った。

2. 各業務担当

(1) 川上総務担当理事

下記の通り、現在の会員現況について報告がなされた。

- ・2023年5月23日現在の会員数436名(一般会員369名、学生会員50名、シニア会員15名)
- ・過去1年間で入会20名、シニア会員への移行4名、退会10名、自動退会68名

(2) 山崎会計財務担当理事

- 配付資料にもとづき、2022年度会費納入率について報告がなされた。
- 配布資料にもとづき、2022年度会計の総括が報告された。

(3) 松金編集委員長

『日本台湾学会報』第25号の編集状況について報告がなされた。

(4) 富田企画委員長

第 25 回学術大会の報告募集・審査結果について報告がなされた。

(5) 福田広報担当理事

学会ホームページおよび学会ブログの運営状況、メーリングリスト登録状況について報告がなされた。

(6) 菅野・洪国際交流担当理事

配付資料にもとづき、対外発信プロジェクト(学会賞論文の英訳支援)、JCASA ニュースレターへの原稿提出について報告がなされた。

(7) 定例研究会担当(関東、関西、台北)

○ 関東：担当理事の松岡格会員(代理報告:川上理事)より、全 6 回の定例研究会が開催されたことが報告された。

○ 関西：担当理事の澤井会員(代理報告:北波理事)より、研究大会が 2022 年 12 月 17 日に関西大学梅田キャンパスにて開催されたことが報告された。

○ 台北：担当幹事の田畠真弓会員(代理報告:川上理事)より、コロナ明け 2 回の定例研究会が開催されたことが報告された。

(8) 垂水学会賞選考委員長、山口学術賞・特別賞選考委員長

○ 第 12 回日本台湾学会賞について、選考委員長の垂水会員より報告された。選評は、学会ウェブサイトに掲載する。

○ 第 1 回日本台湾学会学術賞について、選考委員長の山口会員(代理報告:川上理事)より報告された。選評は、学会ウェブサイトに掲載する。

(9) 田中雄大選挙管理委員長(代理報告:川上理事)

2023 年 2 月 15 日に東京大学本郷キャンパスにおいて開票された選挙結果について報告された。当選者については、既に学会ウェブサイトに掲載済みである。

3. その他

赤松会員から、SNET 台湾が主催し、日本台湾学会が共催するイベント「台南を歩く、台湾を考える～台湾教育旅行の構想と実践～」のチラシを学術大会の会場で配布することについて、各理事に報告がなされた。

議題

1. 2022 年度決算案について

(1) 決算案について(山崎理事)

配布資料のとおり決算案が示された。収入 2,770,143 円、支出 2,403,240 円、黒字 366,903 円である。クレジットカード決済の導入、適切なタイミングでの納入の呼びかけにより、会費収入が増えたものの、引き続き赤字体質を改善する取り組みが必要である。

(2) 会計監査について(伊藤信悟会計監査)

会計監査担当の伊藤信悟会員(代理報告 : 川上理事)より、2022 会計年度の日本台湾学会「会計報告書」および関連資料の監査を行い、これらが適正に表示されていることを確認した旨が報告された。以上を受け、2022 年度の決算案は満場異議なく承認された。

2. 第 25 回学術大会予算案について(山崎理事)

配布資料のとおり学術大会予算案が示され、満場異議なく承認された。

3. 日本台湾学会倫理綱領の策定について(川上理事)

配布資料のとおり日本台湾学会倫理綱領(案)が示され、審議が求められた。

各会員が倫理綱領の精神を意識して活動するように促すことが重要であるとのコメントを受け、日本台湾学会倫理綱領(案)は、満場異議なく承認され、理事会から総会の議案として提出し、審議を諮ることが決まった。

4. 第13期第1回会員総会の議案について(川上理事)

第13期第1回会員総会(5月27日)の議案について、満場異議なく承認された。

5. 第26回学術大会開催校と日時について(松田理事長)

第26回学術大会は、清水麗会員に実行委員長を依頼し、2024年5月25日と26日の2日間、麗澤大学(千葉県柏市)において開催することで満場異議なく承認された。

6. 会員の入退会について(川上理事)

新規入会(2名)、退会(2名)の申請があり、承認された。

7. その他

駒込会員(代理:川上理事)から、京都大学で開催予定のイベント「自主講座 認識台湾」に日本台湾学会にゆかりのある呉叡人氏を招いているため、学術大会の会場にチラシを置くことについて依頼があり、満場異議なく承認された。

以上